



# 最近の金融経済情勢と金融政策運営

— 札幌市金融経済懇談会における挨拶 —

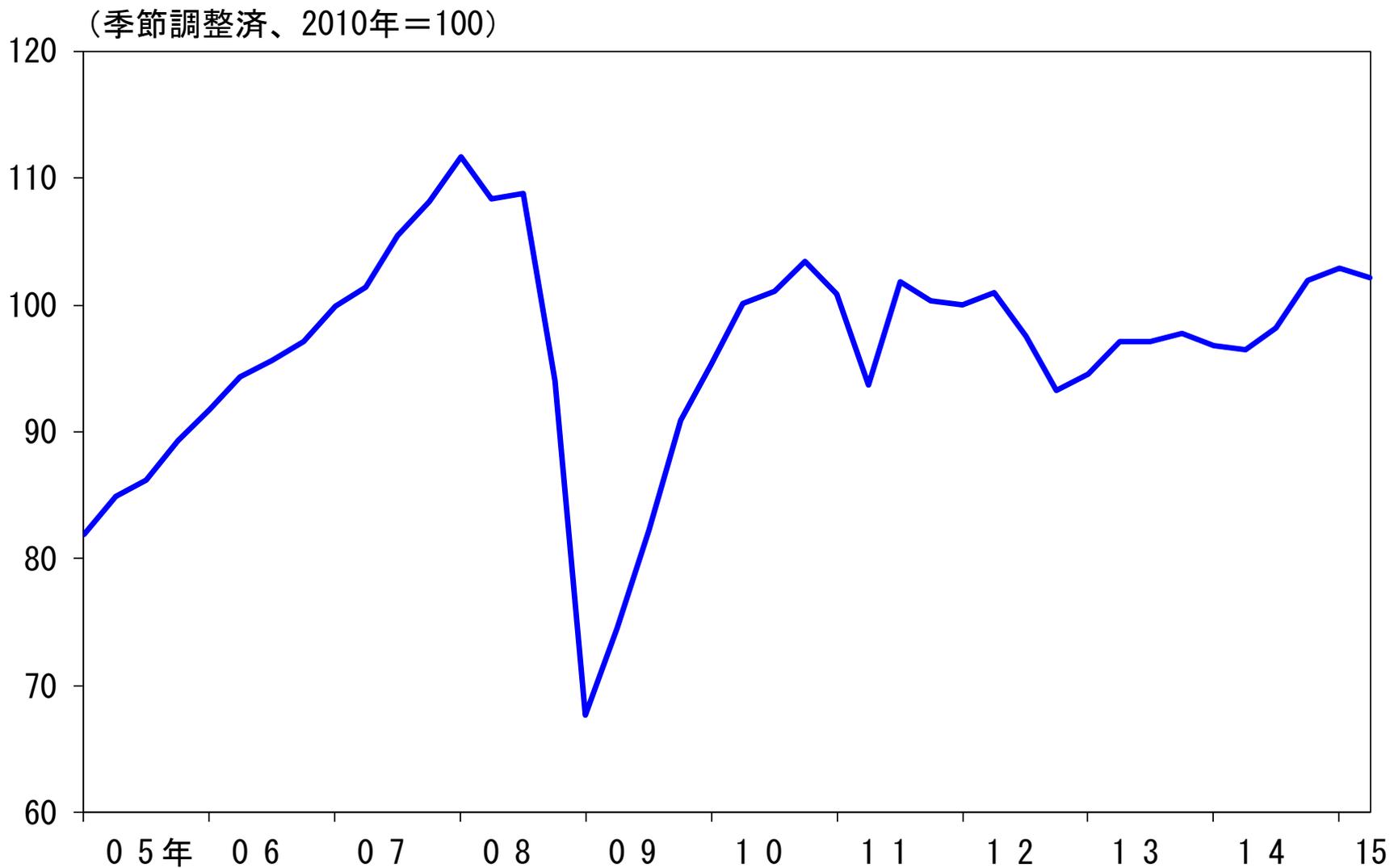
2015年5月27日

日本銀行 副総裁

岩田規久男

図表 1

# 実質輸出



(注) 2015/2Qは、4月の値。

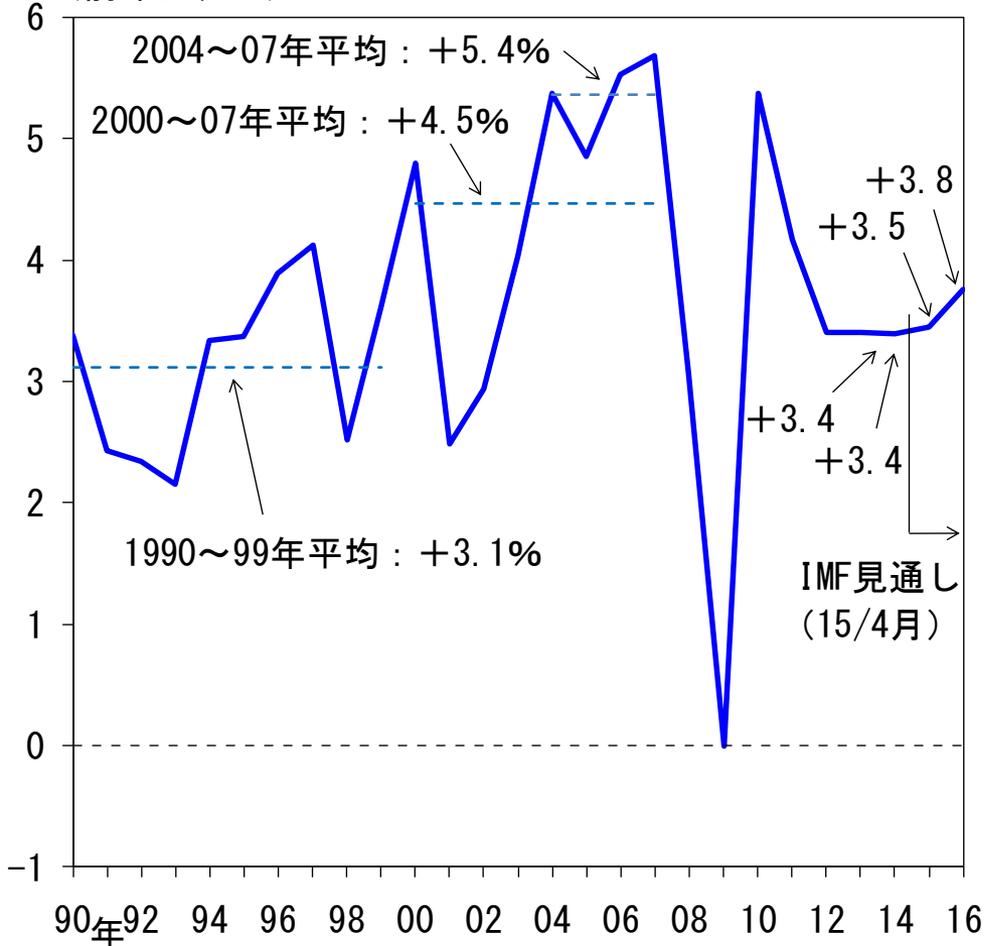
(資料) 財務省「貿易統計」、日本銀行「企業物価指数」

図表 2

# 世界経済見通し

## GDP成長率の推移

(前年比、%)



## 主要国成長率見通し

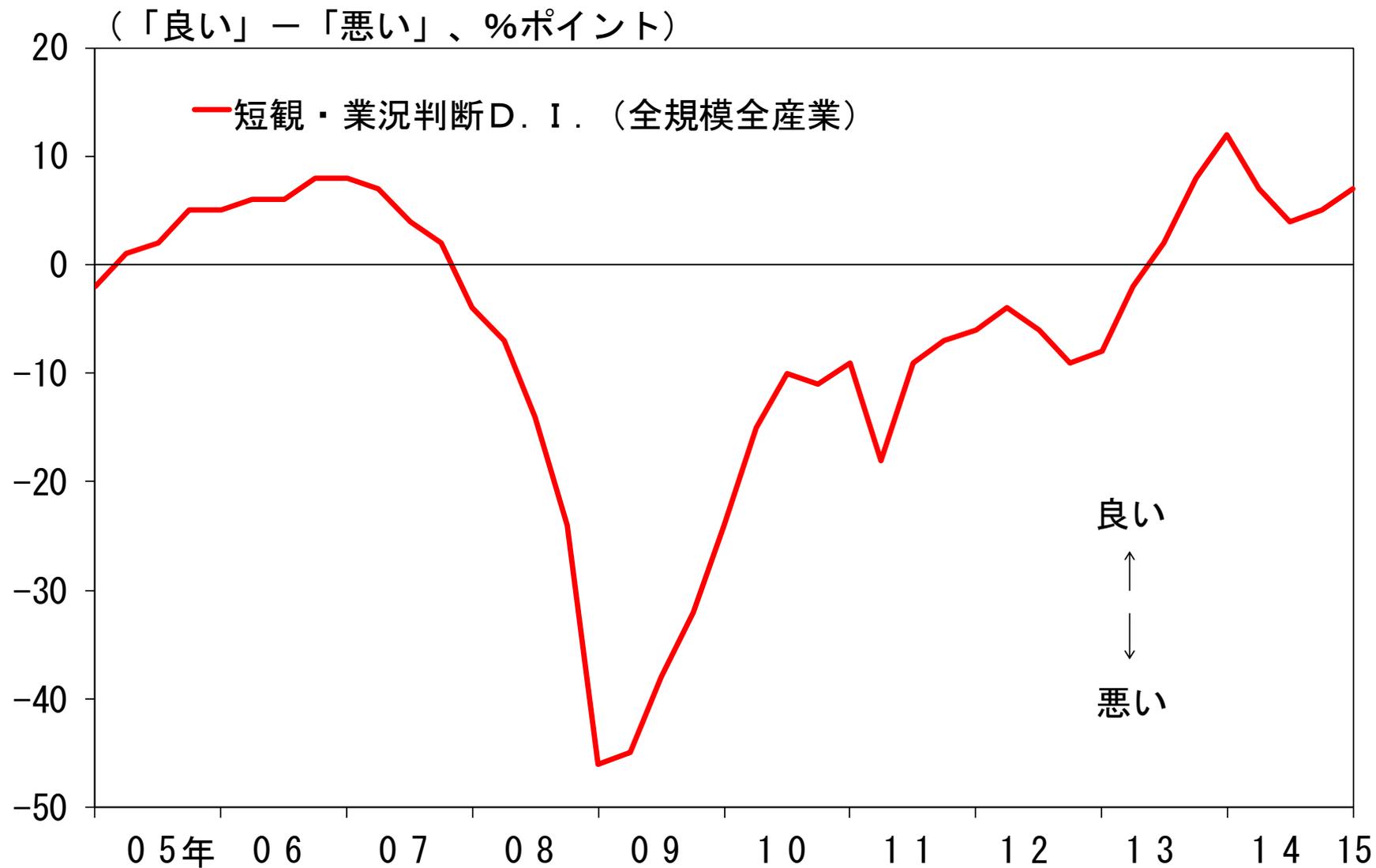
(前年比、%)

	2013年	2014年	2015年 [見通し]	2016年 [見通し]
世界	3.4	3.4	3.5 (0.0)	3.8 (0.1)
先進国	1.4	1.8	2.4 (0.0)	2.4 (0.0)
米国	2.2	2.4	3.1 (-0.5)	3.1 (-0.2)
ユーロエリア	-0.5	0.9	1.5 (0.3)	1.6 (0.2)
日本	1.6	-0.1	1.0 (0.4)	1.2 (0.4)
新興国・途上国	5.0	4.6	4.3 (0.0)	4.7 (0.0)
中国	7.8	7.4	6.8 (0.0)	6.3 (0.0)

(注) ( ) は、15/1月時点における見通しからの修正幅。

図表 3

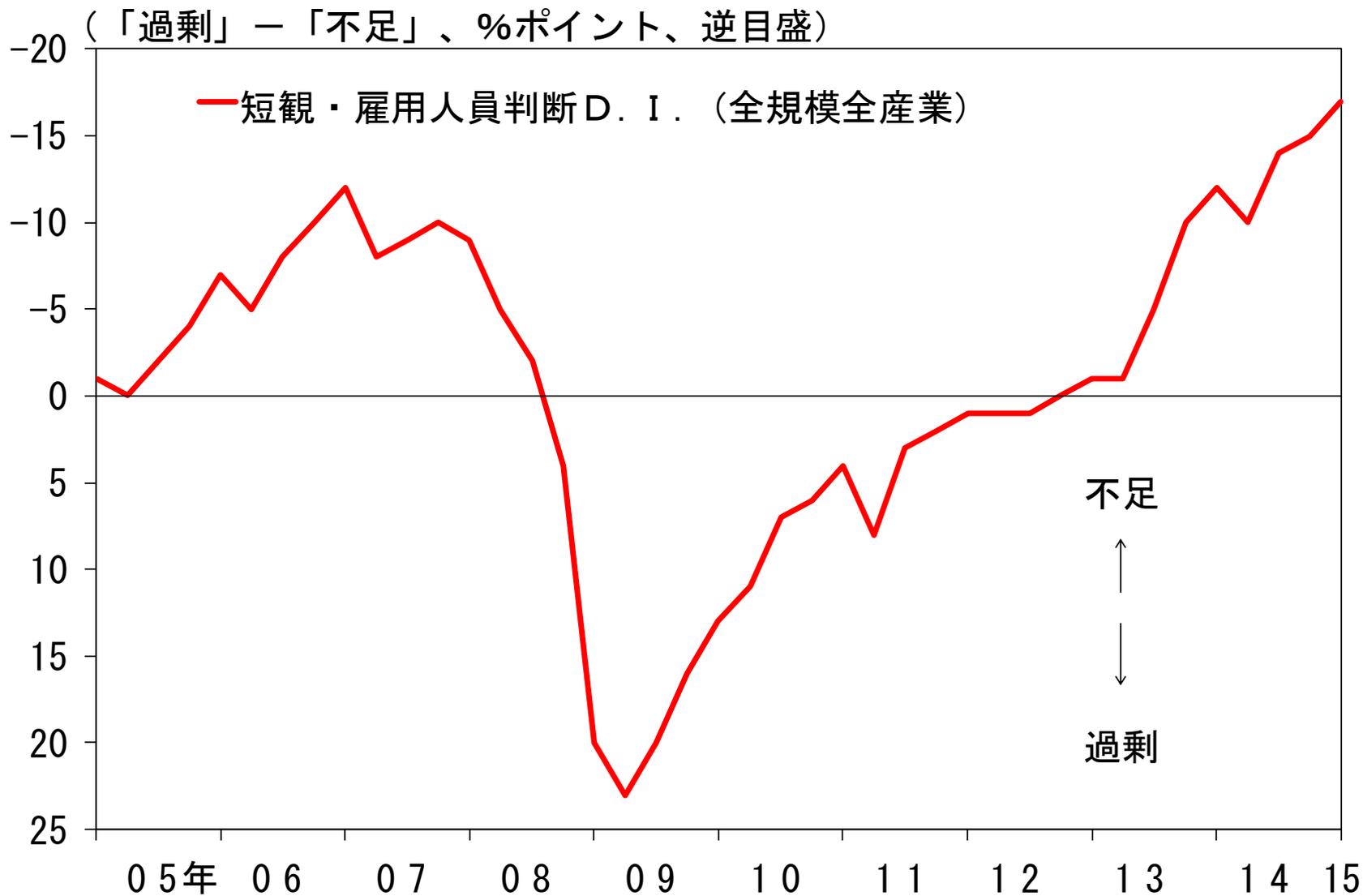
# 企業の業況感



(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

図表 4

# 雇用に対する企業の見方



(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

図表 5

# 展望レポートの経済・物価見通し (2015年4月)

— 政策委員見通しの中央値、対前年度比、%

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)	消費税率引き上げの 影響を除くケース
2015年度	+2.0	+0.8	
1月時点	+2.1	+1.0	
2016年度	+1.5	+2.0	
1月時点	+1.6	+2.2	
2017年度	+0.2	+3.2	+1.9

図表 6

# 「レジーム・チェンジ」の具体化

## 量的・質的金融緩和

2013年4月～

### 目標達成への コミットメント

2%の物価安定目標を、  
2年程度の期間を念頭に置いて、  
できるだけ早期に  
実現することについて、  
日本銀行が明確に約束。

### 具体的な行動

#### ①「量」の拡大

年間約80兆円のペースで  
マネタリーベース<sup>(注)</sup>を増加  
(主な手段＝長期国債の買入れ)

#### ②「質」の変化

リスクのより大きな資産を購入  
・満期の長い長期国債  
・ETFとJ-REIT

2014年  
10月～

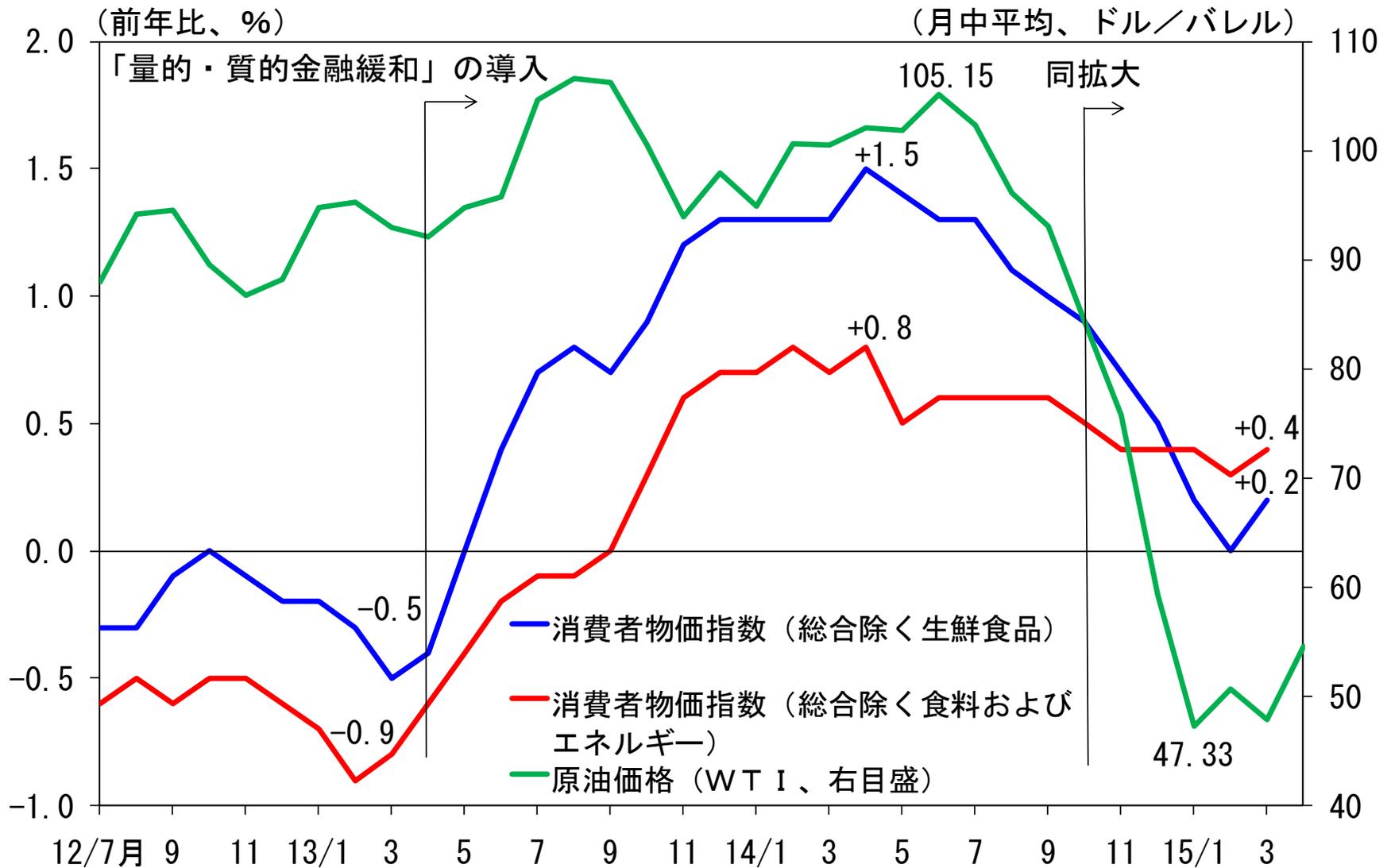
拡大

拡大

(注) 中央銀行から金融システムに直接供給するお金

図表 7

# 消費者物価と原油価格



(注) 消費者物価指数の2014/4月以降は、消費税率引き上げの直接的な影響を調整したベース。

(資料) 総務省「消費者物価指数」、Bloomberg